



もっと知って！技術職員のこと - 関西から広げる輪 -

第1回 大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワークセミナーを開催

【イベント:12月23日(木) 13時30分~@ZOOM または大阪大学吹田キャンパス】

❖ 概要

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークのキックオフ (<https://ou-jogi.sanken.osaka-u.ac.jp/ev/kick-off/>) から1年経ち、この度、第1回セミナーを開催する運びとなりました。第6期科学技術・イノベーション 基本計画^{※1}に記されるように技術職員の活躍が期待されています。また、先端研究基盤共用促進事業(コアファシリティ構築支援プログラム)^{※2}では、採択された多くの大学で「技術職員の能力向上と活躍促進」という目標が掲げられ、その中でも大阪大学では大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークを母体とする関西女性技術職員ネットワークとの連携を戦略の一つとしています。このように期待される中、現実では未だ技術職員は認知されていない状況です。本セミナーを通し、職域の異なる方々と共に技術職員への期待などを議論し、特に女性技術職員がキャリアを途絶えることなく働き続けるためにどうするべきかを参加者と考えていきたいと思います。

基調講演では、前文部科学省大臣官房政策課政策推進室長、現デジタル庁企画官の中川尚志氏に「研究基盤イノベーション政策における 技術職員への期待と対話」というタイトルでご講演いただきます。パネルディスカッションでは、田中 敏宏(大阪大学理事・副学長)、中山 敦子(岩手大学理工学部教授)、屋比久 祐盛(琉球大学工学部技術部 技術長)、黒住 貴代佳(大阪大学大学院理学研究科技術部 技術職員)の4名に「女性・技術・その先へ～」というテーマで議論していただきます。

❖ イベント実施で期待すること

技術職員は教員・事務職員と共に、大学における世界最先端の研究を支える大きな柱です。昨年のキックオフセミナーをひとつの契機として、大阪大学において研究支援員制度^{※3}の対象が技術職員にも拡充されました。またメディアにも報道され、職員ネットワーク構築について他大学からの相談もいただくなど、いま技術職員に注目が集まっています。このように、数少ない大学技術職員が大学間を超えて情報共有し、キャリアパスなども含めたより良い職場環境を目指して多様な職種の人々がともに考える機会を持つことで、全国の大学教職員・学生に技術職員を広く知っていただき、技術職員が担う役割を理解していただければと思います。

Press Release

❖ イベントについて

【日 時】12月23日(木) 13:30 ~ 15:30 (13:00 開場)

【場 所】Zoomによるオンライン

【運営会場】大阪大学吹田キャンパス センテラス 3F サロン

【内容】

- ・あいさつ 「西尾章治郎(大阪大学総長)ビデオレター」
- ・「女性技術職員ネットワークについて」大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワーク代表 中本 有紀
- ・基調講演「研究基盤イノベーション政策における 技術職員への期待と対話」
前文部科学省大臣官房政策課政策推進室長、現在デジタル庁企画官 中川 尚志
- ・パネルディスカッション「女性・技術・その先へ」

【対象】大学教職員・大学生・一般(参加無料)

【詳細】<https://ou-jogi.sanken.osaka-u.ac.jp/ev/1st-seminar/>

❖ 用語説明

※1 内閣府が 2021 年度から 5 年間にわたる科学技術政策の枠組みを定めたもの。
(<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>)

※2 文部科学省の事業。研究機関全体で設備のマネジメントを担う統括部局の機能を強化し、学部・学科・研究科等の各研究組織での管理が進みつつある研究設備・機器を、研究機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化(コアファシリティ化)することを目的としたもの。
(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2021/6/20210611001>)

※3 出産や育児、介護等の様々なライフイベントに直面し、研究時間を十分に確保できない研究者を支援するため、大学院修了者や学生等を「研究支援員」として雇用する大阪大学の制度。令和3年度から技術職員にも拡充された。(<https://www.danjo.osaka-u.ac.jp/career/support-system/>)